

# 2015年9月期 決算補足説明資料



2015年11月12日 株式会社フィックスターズ（東証マザーズ3687）



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

財務データ数値は、2012年9月期より連結の数値としております。

当社は、2013年4月25日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。また、2014年8月1日付で、株式1株につき5株の株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の推移を記載しております。

2013年9月期の四半期売上高および利益については、有限責任あずさ監査法人の四半期レビューおよび監査を受けたものではありません。



2015年9月期通期 決算概要

2016年9月期通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略

大容量高速ストレージ事業



2015年9月期通期 決算概要

2016年9月期通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略

大容量高速ストレージ事業



# 2015年9月期通期 決算ハイライト

## 業績

- 通期業績予想を上回り過去最高の売上高、利益を達成  
売上高： **3,582百万円**（前期比 **+21.9%**）  
営業利益： **614百万円**（前期比 **+35.8%**）
- 1株当たり配当金は前期12円から**20円に増額**
- ROEは前期26.5%から**27.7%に増加**と高水準で推移

## セグメント別概況

- ソフトウェア・サービス事業  
フラッシュメモリ関連サービスおよびマルチコア高速化サービスが好調
- ハードウェア基盤事業  
画像処理演算ボードは量産納入が長期継続中  
大容量高速ストレージは通期予算30百万円に対して、110百万円の実績

## 成長加速への取り組み

- 大容量高速ストレージ事業  
大手サーバーベンダーのレノボのオプション製品、映像機器メーカーのATOMOSの推奨ドライブに採用など、パートナー企業との協業が加速
- 新規事業の立ち上げ  
SHIFTとの合併会社アイ・イー・テックを設立しソフトウェアテスト分野に機械学習手法を応用

# 2015年9月期通期 決算概要 – 損益計算書 –

- 通期業績予想を上回り、**過去最高の売上高、利益**を達成

(単位：百万円)

項目	2015年9月期実績					2015年 9月期 通期実績	2015年 9月期 通期予想	2014年 9月期 通期実績
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期実績			
売上高	834	927	868	952	3,582	3,560	2,938	
営業利益	214	168	170	61	614	600	452	
売上高 営業利益率	25.8%	18.1%	19.6%	6.4%	17.2%	16.9%	15.4%	
経常利益	216	177	170	60	625	610	437	
売上高 経常利益率	26.0%	19.2%	19.6%	6.3%	17.4%	17.2%	14.9%	
当期純利益	144	125	99	77	447	396	273	

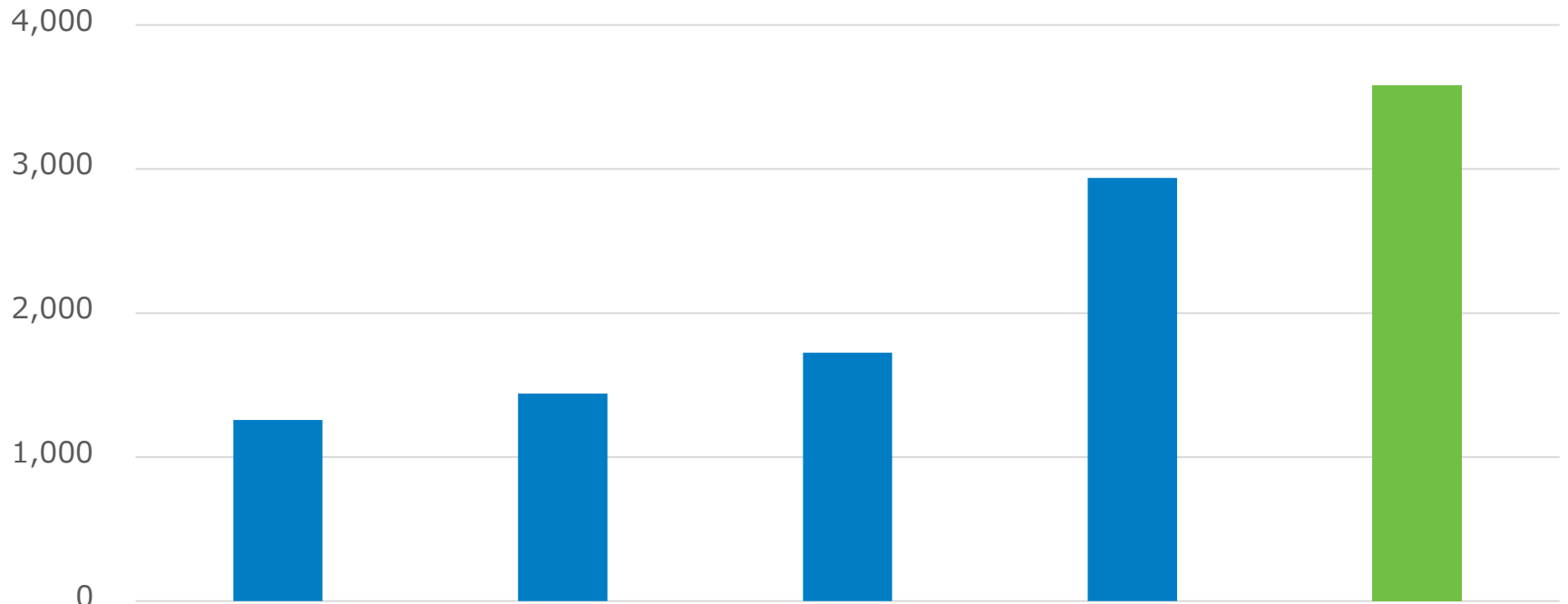


# 通期業績推移 - 売上高 -

- 売上高： **3,582百万円**（前期比 **+21.9%**）
- ソフトウェア・サービス事業の継続成長により**過去最高売上高**を達成

通期売上高の推移

（単位：百万円）



	2011/09	2012/09	2013/09	2014/09	2015/09
売上高	1,258	1,441	1,725	2,938	3,582

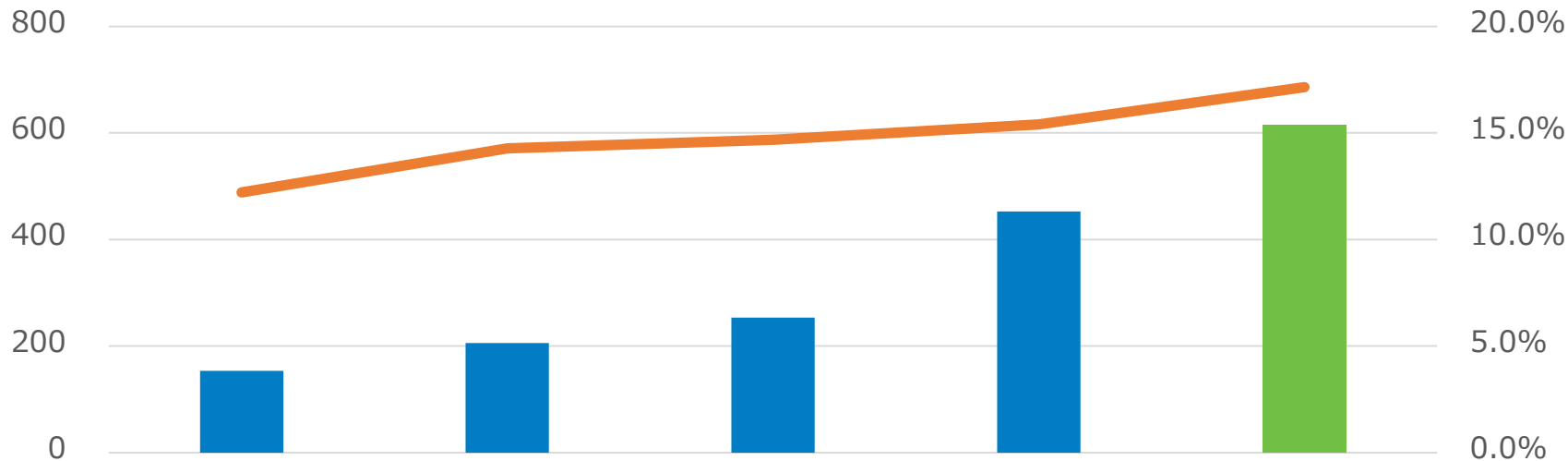


# 通期業績推移 – 営業利益 –

- 営業利益： **614百万円**（前期比 **+35.8%**）
- 売上が順調な伸びを継続するなか、大容量高速ストレージ事業を中心に必要な投資を行いつつ**過去最高益**を達成

## 通期営業利益の推移

（単位：百万円）



	2011/09	2012/09	2013/09	2014/09	2015/09
営業利益	153	205	253	452	614
売上高 営業利益率	12.2%	14.3%	14.7%	15.4%	17.2%



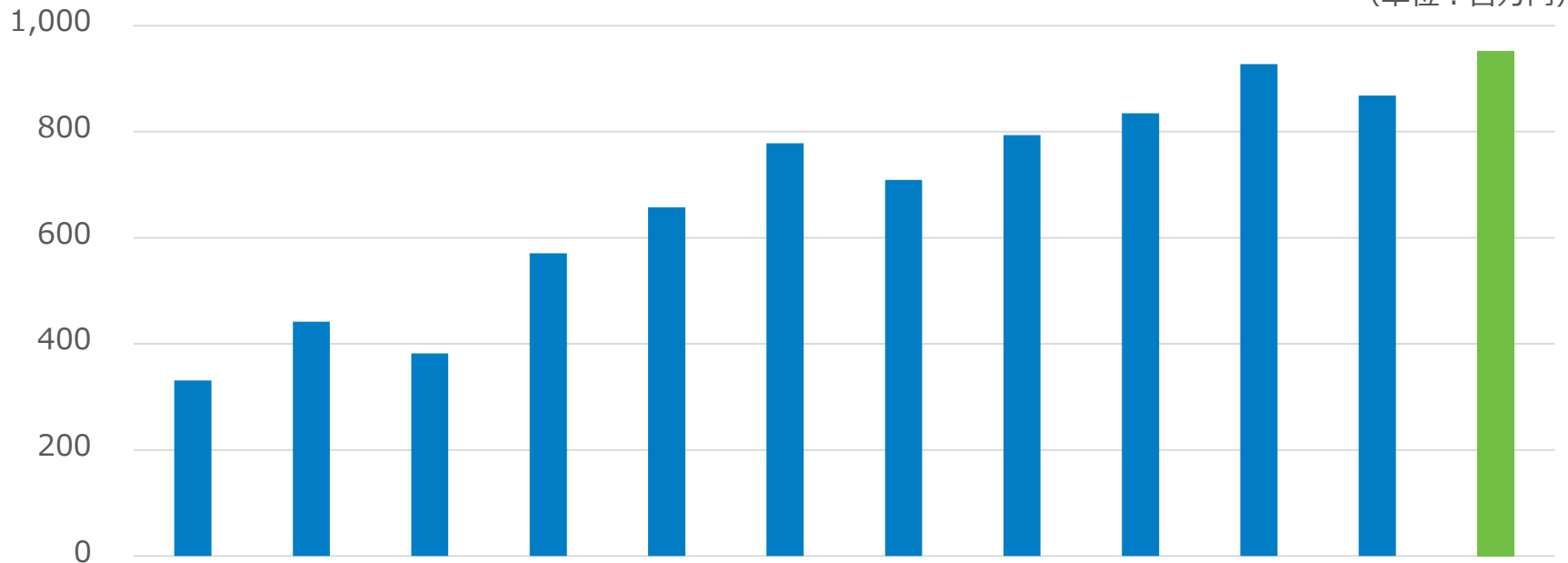


# 四半期業績推移 - 売上高 -

- 第4四半期(2015/7~9) : **952百万円** (前年同4Q比 **+20.0%**)
- ソフトウェア・サービスの伸長により四半期ベースでも**過去最高売上高**を達成

## 四半期売上高の推移

(単位：百万円)



	2013/09				2014/09				2015/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	331	441	381	570	657	778	708	793	834	927	868	952

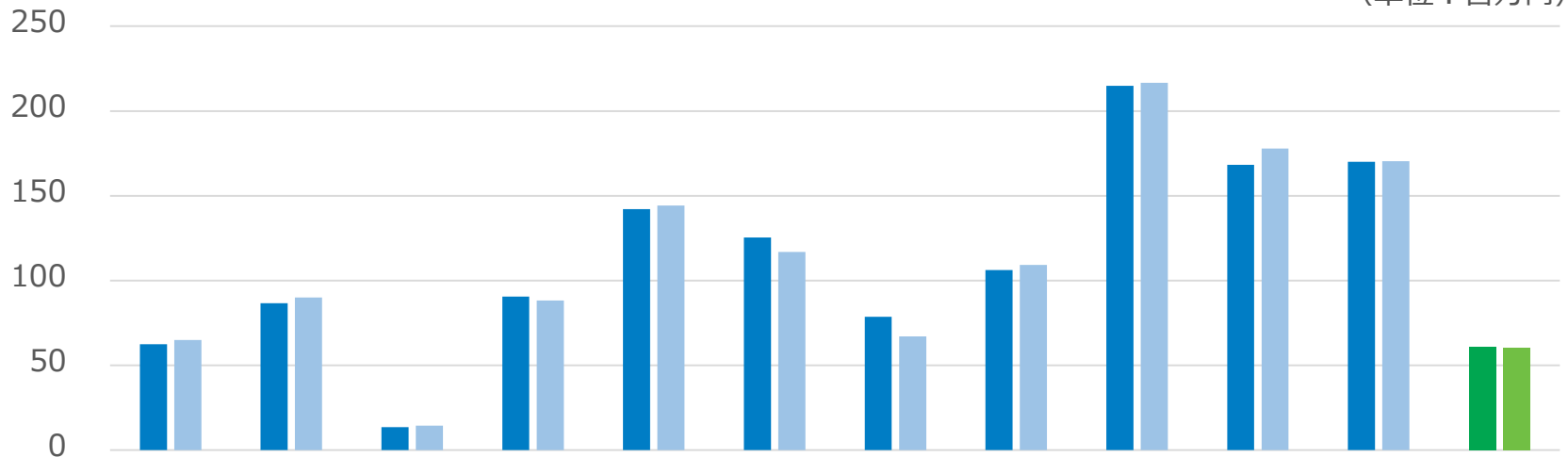


# 四半期業績推移 – 営業利益・経常利益 –

- 第4四半期(2015/7~9) 営業利益： **61百万円** (前年同4Q比 ▲42.5%)  
 経常利益： **60百万円** (前年同4Q比 ▲44.9%)
- 大容量高速ストレージ事業への投資を拡大しつつ利益を確保

## 四半期利益の推移

(単位：百万円)



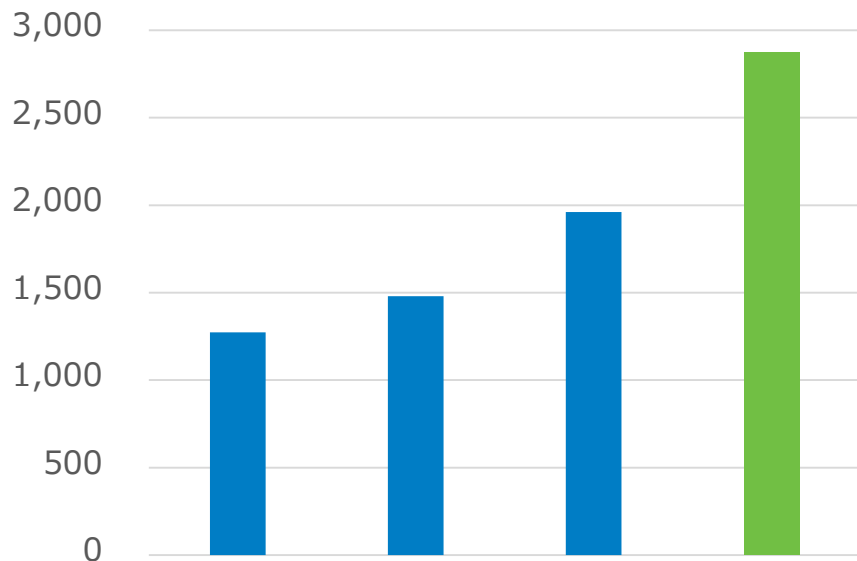
	2013/09				2014/09				2015/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	62	86	13	90	142	125	78	106	214	168	170	61
経常利益	64	89	14	88	144	116	67	109	216	177	170	60

# 業績推移 – ソフトウェア・サービス事業 –

- 売上高： 第4四半期 **838百万円**、通期累計 **2,872百万円**  
 利益： 第4四半期 **92百万円**、通期累計 **601百万円**
- フラッシュメモリ関連サービスを中心に順調に取引を拡大

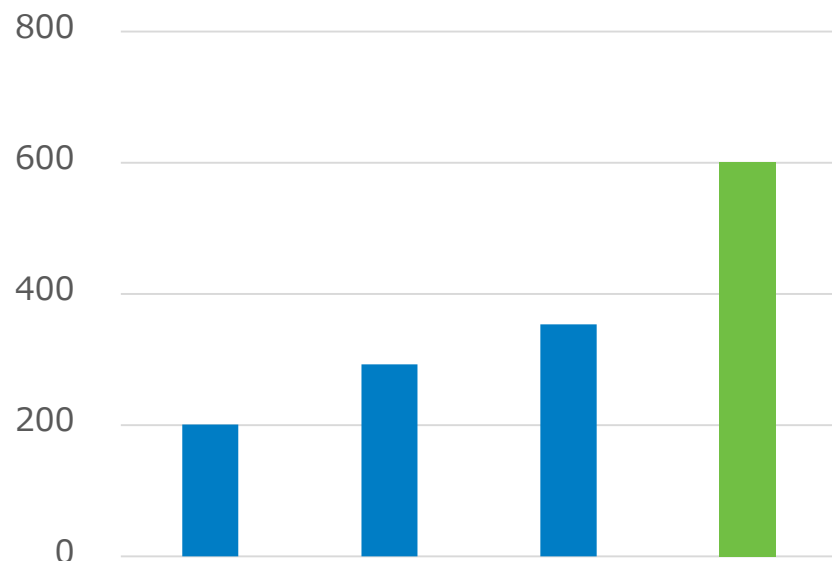
売上高の推移

(単位：百万円)



利益の推移

(単位：百万円)



	2012/09	2013/09	2014/09	2015/09
売上高	1,272	1,479	1,961	2,872

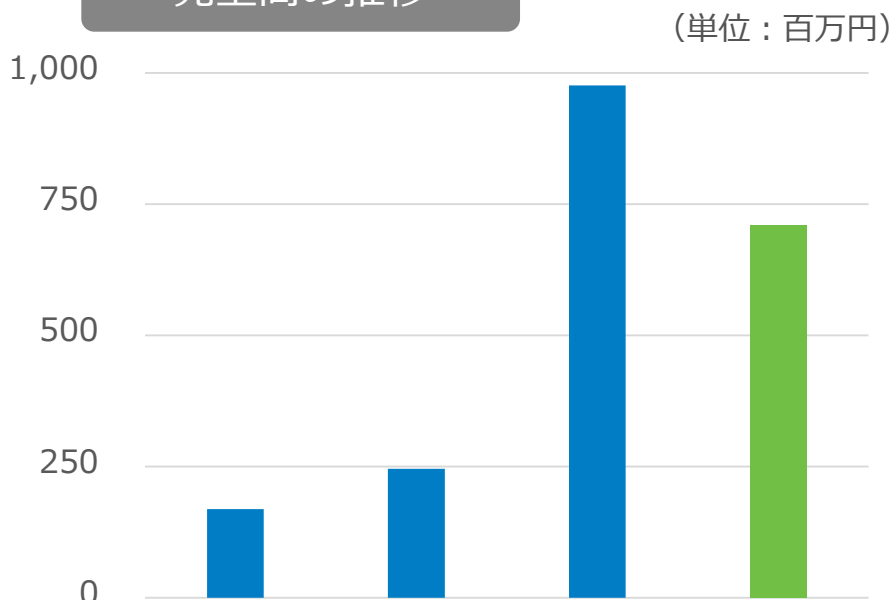
	2012/09	2013/09	2014/09	2015/09
利益	200	292	353	601



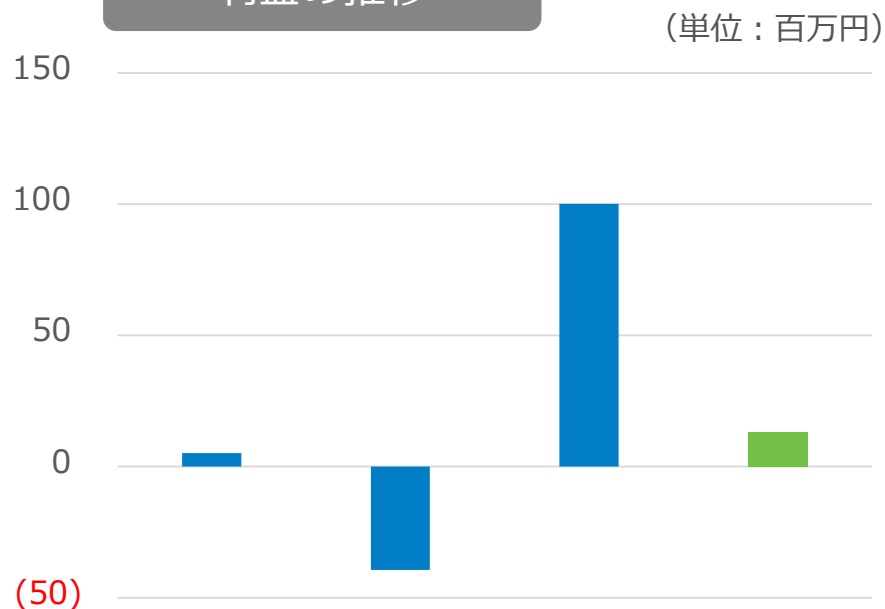
# 業績推移 –ハードウェア基盤事業–

- 売上高： 第4四半期 **113百万円**、通期累計 **709百万円**  
 利益： 第4四半期 **▲31百万円**、通期累計 **13百万円**
- 画像処理演算ボードが継続的に収益貢献
- 大容量高速ストレージの製品開発、販売促進向け大規模投資を4Qに実施

売上高の推移



利益の推移



	2012/09	2013/09	2014/09	2015/09
売上高	168	245	976	709

	2012/09	2013/09	2014/09	2015/09
利益	5	▲39	100	13

# 2015年9月期通期 決算概要 – 貸借対照表 –

- 総資産 2,542百万円、自己資本 1,841百万円（自己資本比率 72.4%）
- 大容量高速ストレージ事業関連のたな卸資産が増加

（単位：百万円）

		2015年 9月期	2014年 9月期	前期比増減額
流動資産		2,341	1,728	+612
	（現預金）	1,131	946	+184
	（商品及び製品）	118	7	+110
	（原材料）	111	-	+111
固定資産		201	165	+35
総資産		2,542	1,894	+648
流動負債		690	481	+208
固定負債		10	30	▲20
純資産		1,842	1,382	+459
負債＋純資産 合計		2,542	1,894	+648

# ★ その他のトピック：ジョイントベンチャーの設立

機械学習をソフトウェアテストの分野に応用。同分野で知見のある株式会社SHIFTと合併会社アイ・イー・テックを10月1日に設立

ソフトウェアテストといえば

**SHIFT**

開発・不具合データ  
テスト業務のノウハウ



機械学習システム  
の構築



大量データ

機械学習

テスト  
アクティビティ



2015年9月期通期 決算概要

2016年9月期通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略

大容量高速ストレージ事業

# 2016年9月期通期 業績予想のポイント

## 業績

- 売上、利益ともに過去最高を予想

売上高： **4,031百万円**（前期比 **+12.5%**）  
営業利益： **630百万円**（前期比 **+2.5%**）

## ソフトウェア ・サービス 事業

- マルチコア高速化サービス

引き続き車載分野を中心に画像処理関連案件が好調の見込

- フラッシュメモリ関連サービス

昨年度に続きフラッシュメモリ関連サービスが好調の見込

## ハードウェア 基盤事業

- 画像処理プロセッサ搭載演算ボード販売

昨年度と同様、安定需要が継続する見込

- 大容量高速ストレージ事業

次期戦略事業と位置づけ、積極投資を継続

研究開発費は昨年度実績203百万円と同程度の見込

通期売上高は340百万円と昨年度実績110百万円から大幅増の見込





# 2016年9月期通期 業績予想

## 2016年9月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2016年9月期 業績予想	4,031	630	625	447
2015年9月期 実績	3,582	614	625	447
増減率	+12.5%	+2.5%	+0.0%	+0.1%

## 配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2016年9月期 予想	20円	67円56銭	29.6%
2015年9月期 実績	20円	68円32銭	29.6%
2014年9月期 実績	12円	46円31銭	28.3%



2015年9月期通期 決算概要

2016年9月期通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略

大容量高速ストレージ事業

## フィックスターズとは？

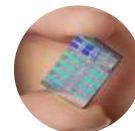
事業内容	マルチコアプロセッサ関連事業
設立	2002年8月
資本金	5億3,271万円（2015年9月末 現在）
社員数	135名（2015年9月末 現在）
所在地	大崎（本社）、横浜
代表取締役社長	三木 聡
子会社	Fixstars Solutions, Inc.（米国カリフォルニア州、100%子会社）
主な取引先	東芝、キャノン、日立メディコ、日立ハイテクノロジーズ、オリンパス、みずほ証券、日立アロカメディカル、宇宙航空研究開発機構など



マルチコアプロセッサ／フラッシュメモリを駆使して  
大量計算や大量データI/Oの高速処理を実現するソフトウェア・パートナーです

## フィックスターズの歩み

2002年	8月	神奈川県横浜市に有限会社フィックスターズ設立
2002年	10月	株式会社フィックスターズに組織変更
2004年	7月	マルチコア技術開発部設立、Cell/B.E.ソフトウェア開発サービス開始
2006年	12月	PlayStation®3の発売を受け、「PS3® Information Site」を立ち上げる
2008年	5月	みずほ証券株式会社向けにデリバティブ計算用グリッドシステム構築
	10月	100%子会社として、Fixstars Solutions, Inc.を米国カリフォルニア州に設立し、米国Terra Soft Solutions Inc.よりYellow Dog Linux事業を譲り受ける
2010年	11月	米国空軍研究所に、PlayStation®3を用いた高速クラスタシステムを導入
2010年	12月	NEDOの「低消費電力メニーコア用アーキテクチャとコンパイラ技術」開発事業に採択
2013年	6月	株式会社東芝から1億円の出資を受ける
2014年	4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
	7月	大容量高速ストレージ製品『Fixstars SSD-3000M』発表（SATA 2.5" SSDで世界最大容量）
	10月	北米地域の業容拡大を目的とし、カナダに孫会社設立
	11月	株式会社アバールデータと業務・資本提携
2015年	2月	北米において大容量高速ストレージ製品の販売を開始
	5月	さらなる大容量化を実現した6TB SSD『Fixstars SSD-6000M』を発表
	9月	レノボ・ジャパン株式会社が大容量高速ストレージ製品をオプション製品として取扱開始



# 今後の成長戦略のポイント

## 全社戦略

- 既存中核事業による安定成長を実現
- 大容量高速ストレージ事業に積極投資を行いさらなる飛躍へ

## 既存中核事業

- 拡大する需要に応え確実に成長  
コンピューターの複雑化に合わせ、マルチコア高速化サービス、フラッシュメモリ関連サービスを中心に順調な需要増を予測。
- トータルソリューションの提供  
研究・製品開発時のソフトウェア・サービスから顧客製品量産後のハードウェアまで提供。長期継続的な関係構築を目指す。

## 大容量高速ストレージ事業

- 市場拡大の大きな潮流に乗る  
ストレージ市場全体の継続拡大、HDDからSSD等のフラッシュストレージへの移行の流れに乗る。
- 重点分野を絞った戦略  
重点分野で実績をつくり、その後のメイン市場での事業拡大につなげる。

# 外部環境：当社事業領域におけるテクノロジーの進化

今まで以上のスピードで、今まで以上のインパクトを  
人々の生活に与えつつテクノロジーが進化



**映像機器**  
4k/8k  
ハイスピード  
カメラ



**医療**  
ゲノム解析  
高画質  
MRI/CT



**モバイル**  
スマートフォン  
タブレット



**車載機器**  
ADAS  
(先進運転  
支援システム)



**ビッグデータ**  
IoTデータ収集  
機械学習



**産業機器**  
製造検査装置  
Industry4.0



**金融**  
デリバティブ  
リスク管理

# 外部環境：複雑化するコンピューター技術

テクノロジーの進化の実現のためコンピューター技術はより複雑化  
最先端ハードウェアと最適なソフトウェアの両方がキーに

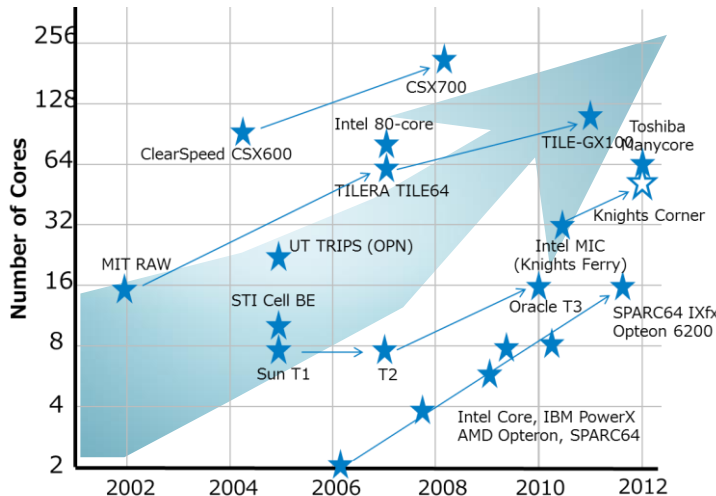
## マルチコア化

ハード  
ウェア

発熱と消費電力の問題により、シングル  
コアからマルチコアへ進化の形が変化

ソフト  
ウェア

複数のコアでプログラムが実行されるた  
め、コア間の同期や最適化を制御

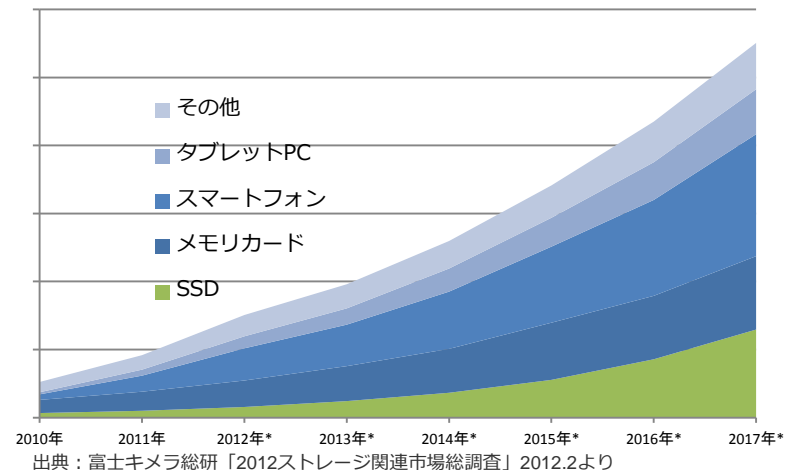


CPUに搭載されるコア数の推移

## メモリ高速化

メモリ単価の低減等により、HDDからSSD  
等のフラッシュストレージへの移行が加速

HDDに比べて短い寿命等のデメリットを、  
ソフトウェア制御により解消



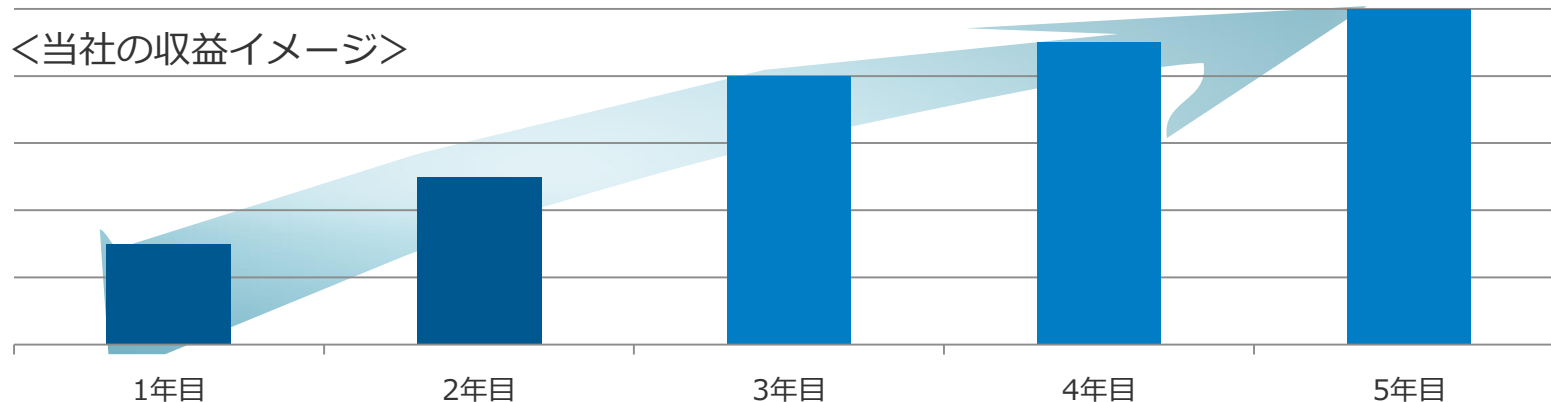
フラッシュメモリの需要推移

顧客製品の研究段階から量産・販売までソフトウェア・サービスとハードウェア両方によるトータルソリューションを実現

## フィックスターズの提供サービス

ソフトウェア・サービス		ハードウェア/ソフトウェア ライブラリの販売・サポート	
共同研究	コンサルティング	部材提供	保守
最適化	サポート		

<当社の収益イメージ>



研究

製品開発

製品量産・販売

お客様の製品ライフサイクル



# 当社のソリューション：ソフトウェア・サービス

組込み製品を中心にマルチコア、メモリの性能を高く発揮



弊社

オリジナルソースコードのご提供

最適化サービス



お客様

コンサルティング

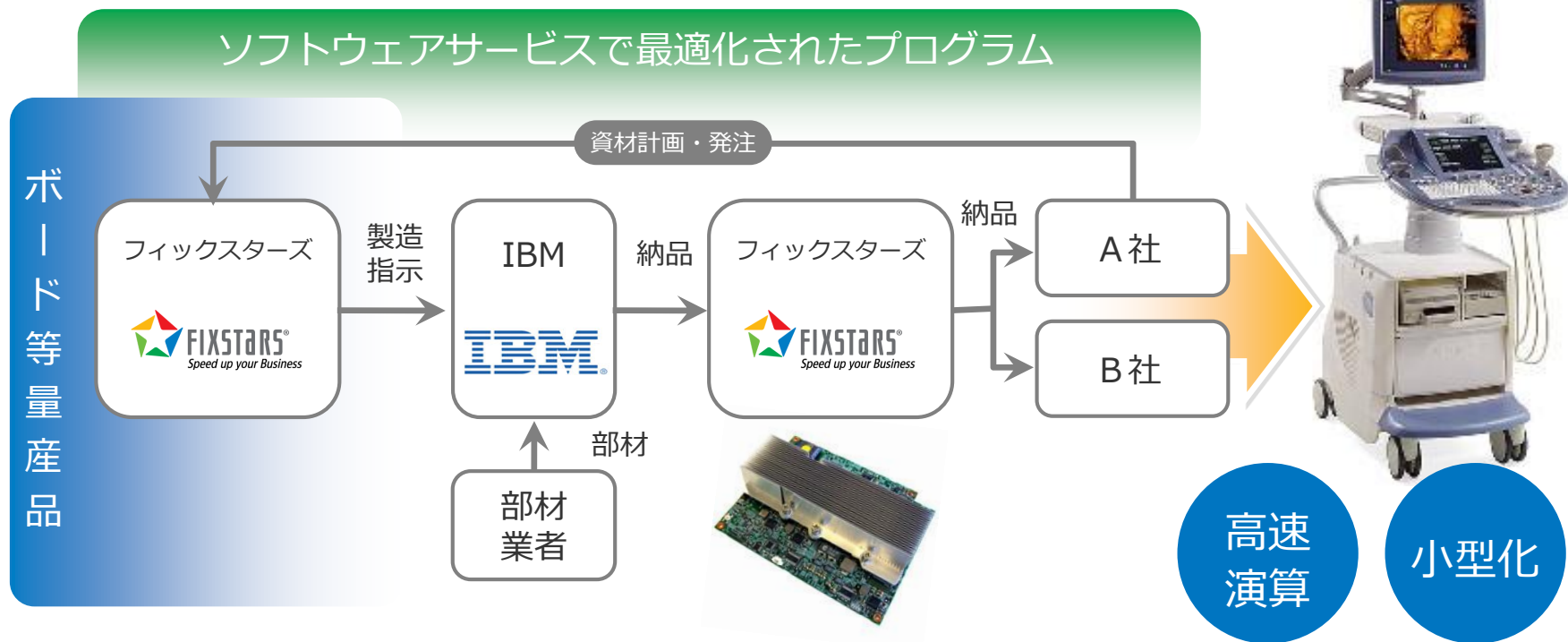
移植・最適化

サポート

- 性能評価
- ボトルネックの特定
- ハードウェア選定
- マルチコアへの移植
- ソフトウェア最適化
- レポート
- 実製品への組み込み支援
- 技術トランスファー
- ハードウェア提供

# 当社のソリューション：ハードウェア基盤

最適な機器を選定して提供し、  
ソフトサポートとハイブリッドでWin-Win関係を構築





2015年9月期通期 決算概要

2016年9月期通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略

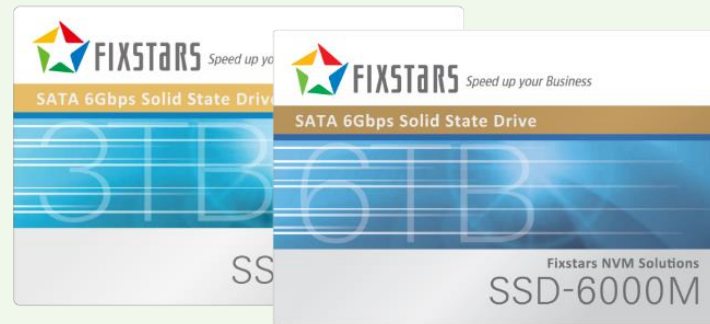
大容量高速ストレージ事業

# 大容量高速ストレージ事業の製品紹介

エンタープライズ向けに特徴ある製品を開発・販売



高精細映像撮影向けストレージ  
『IRIS-DRIVE』



SATA 6Gps 2.5"  
『Fixstars SSD-3000M/6000M』

## 圧倒的大容量

最大6TBといった同一フォーム  
ファクタで世界最大容量を実現

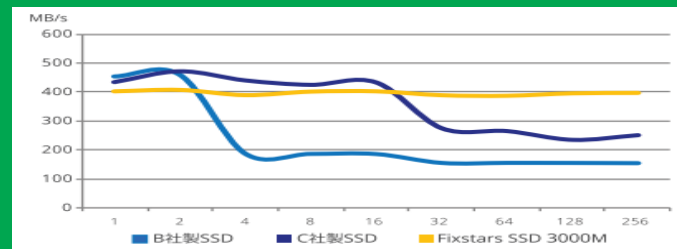
6TBの記録可能量

ウェブページ  
60兆枚分

4k非圧縮  
2時間

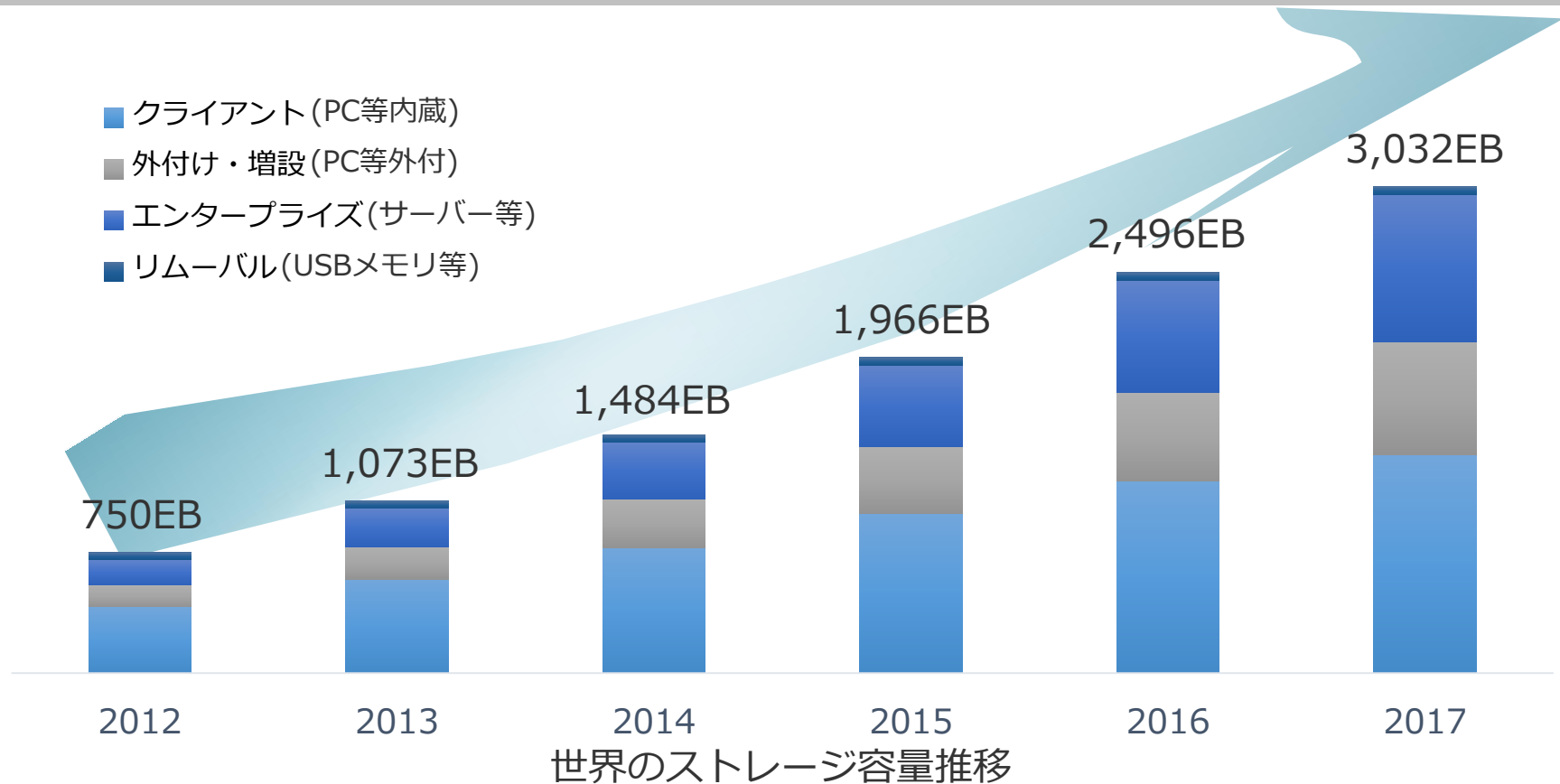
## 安定した転送速度

独自ソフトウェア制御により安定した  
読込・書込速度をキープ



# 外部環境：ストレージ容量の爆発的な増加

テクノロジーの進化にあわせ、  
世界中でストレージ容量に対する需要が爆発的に増加



EB(エクサバイト):ギガバイトの約10億倍

出典：富士キメラ総研「2012ストレージ関連市場総調査」

# 大容量高速ストレージ事業の現状認識

ソフトウェア・サービス事業で培った顧客基盤と技術を活かし、  
資金力や後発参入といった弱みを補う戦略が必要

強み

特定分野での  
顧客基盤

ソフトウェア  
技術力

フラッシュメモ  
リ関連サービス  
との連携

・長年の高速化サービスにより培った顧客基盤

・SSDはソフトウェアによる制御がキーとなる  
・独自アーキテクチャにより高性能・高信頼を実現

・SSDに搭載されるフラッシュメモリ関連サービスを半導体企業に提供  
・フラッシュメモリの特性を把握

資金力

SSD市場で後発

弱み

当社製品の特性である大容量と安定した転送速度が求められ、  
かつ大手プレイヤーの少ない分野に特化

ランダムアクセス重視

シーケンシャルアクセス重視

エンタープライズ

リレーショナルデータベース

データウェアハウス  
デスクトップ仮想化

ターゲット市場

映像撮影・編集

配信用サーバー

組み込みシステム

コンシューマー

PC等

ランダムアクセス：読込・書込をしたいデータの場所を割り出し、直接その場所にアクセスする方法

シーケンシャルアクセス：データを先頭から順番に読込・書込する方法

4k/8kといった高精細映像撮影で不可欠なコマ落ち防止を実現  
映像編集でもHDD使用時に比べTCOの削減に寄与

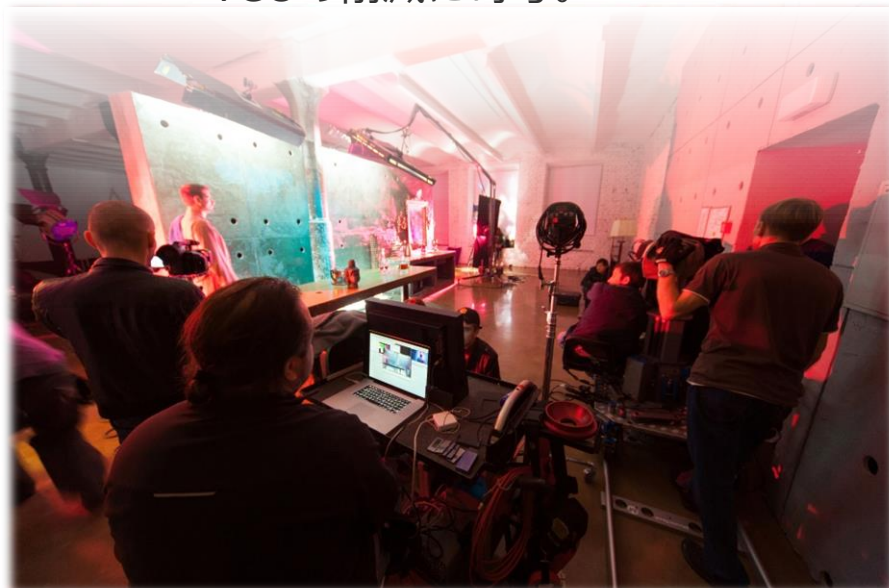
## 映像撮影

4k/8k、ハイスピードカメラ等の高精細映像撮影向けレコーダーで使用。大容量、安定した転送速度により大量映像データのコマ落ちなしでの撮影を実現。



## 映像編集

NUKEユーザーなど、大量映像データを使用するポストプロダクションで使用。TCOの削減に寄与。



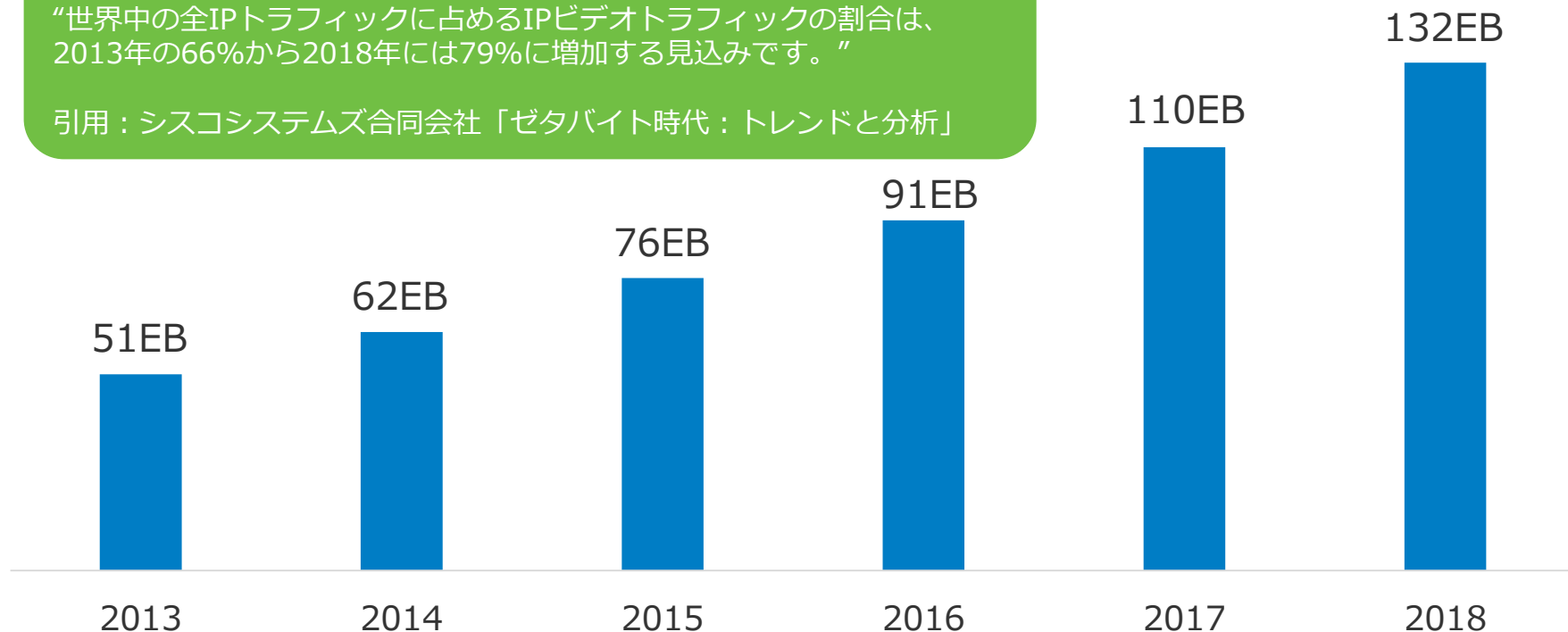


# 重点分野：配信用サーバー

ストリーミングやCDNサーバーといった配信用サーバーでは、急増するトラフィックを連続して処理できるストレージが必要

“2018年には、今までに作成された全ての動画に相当するギガバイト量が、3分ごとに全世界のインターネットを通過するようになります。”  
“世界中の全IPトラフィックに占めるIPビデオトラフィックの割合は、2013年の66%から2018年には79%に増加する見込みです。”

引用：シスコシステムズ合同会社「ゼタバイト時代：トレンドと分析」



一月当たりの全世界のIPトラフィック量

\*EB:ギガバイトの約 10億倍

\*CDN: Content Delivery Network

出典：シスコシステムズ合同会社「ゼタバイト時代：トレンドと分析」

# 重点分野：組み込みシステム

大量データの連続処理が求められる、監視カメラシステム、医療機器、産業機器等の組み込みシステムでも需要が見込まれる



## 監視カメラシステム

画像の高精細化、解析の高度化により、必要とするストレージ容量が増大



## 医療機器

よりリアルな画像を、よりリアルタイムで表示することができるストレージが必要



## 産業機器

製造現場で発生する多様で大量なデータを、即座に分析しフィードバックできるストレージが必要

ターゲット市場のニーズに合わせた特徴ある製品を開発

### 高信頼性

データの冗長記録機能搭載。  
データ破損の自動修復が可能に。

### 安定動作

長時間利用による速度低下を防止。  
一定速度でのデータアクセスにより、  
データのこま落ちを防ぐ。

### 複数の 接続規格

現行の接続規格SATAのみならず、  
PCIeボードタイプを開発し、より  
高速用途での顧客ニーズに対応。

### 大容量

世界最大容量の追求により、記録  
メディアのスペースが限られた場面  
でも大量データの記録を実現。



ソフトウェア技術を通じて  
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、  
フィックスターズの技術を活かして  
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました